

# 謹 賀 新 年

# 湯 布 院

第 62 号

発行  
湯布院駐屯地後援会  
印刷所  
大野印刷株式会社

## 年頭の辞

### 新年明けまして

おめでどういさい

隊員及びご家族の皆様そして平素よりご支援を頂いております地域の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
一昨年四月には熊本地方を震源とする大きな地震が、昨年七月には北部九州に大水害が起き、どちらも大分県に大きな被害があり、水害では亡くなられた方もおられます。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。一昨年七月着任以来、記念行事や納涼大会などの各種行事に多数参加頂き誠にありがとうございます。また、ゆふいん盆地祭りや由布岳山開き祭などに地域の皆様に参加させて頂き、より強い絆を積み重ねていると確信しております。  
さて、我々特科隊は昨年協同対艦攻撃、水陸兩用作戦における統合火力運用の能力向上を進めてきました。特に昨年実施され



西部方面特科隊長兼  
湯布院駐屯地司令  
一等陸佐 壁村 正照

た自衛隊統合演習(二十九J)では、航空自衛隊との協同対艦攻撃に取り組み、より実戦的な訓練を積み重ねて参りました。南西諸島の防衛体制の強化、水陸兩用作戦能力強化のため、三月には当地湯布院駐屯地において、水陸兩用作戦機能を持つ水陸機動団隷下の特科大隊が編成され、その後数年にわたり新部隊の編成が継続します。これらの変化に対し、新たな発想・企画力をもって、これまで培われてきた伝統を生かし優秀な隊員諸官により、柔軟かつ充分に対応できるものと信じています。  
今年も、勢いよく万全の準備を整え、「明るく、前向きに」強靱な部隊の練成に努める所存ですので、今年もよろしくお願ひ致します。

平成三十年 元旦

### 新年あけましておめでとうございます

湯布院駐屯地の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えるのことにちかひ申し上げます。  
また、平素から由布市行政及び防衛協会事業に対し、温かいご理解とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。



由布市協会 会長  
由布市防衛協会 会長  
由布市長 相馬 尊重

### 新年あけましておめでとうございます

湯布院駐屯地隊員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。  
一昨年は熊本地震、昨年は七月、朝倉市・日田市の九州北部豪雨災害、九月の県南津久見市周辺の台風災害と近隣での自然災害が続いています。災害派遣で活躍する自衛隊員の姿に誇りを感じるとともに湯布院駐屯地がここに存在しています。



湯布院駐屯地後援会  
会長 岩男 裕二郎

### 新年あけましておめでとうございます

隊員の皆さま、またご家族の皆さまそして平素からご支援を頂いている地域の皆さま、謹んで新年のご挨拶申し上げます。  
西部方面特科隊兼ねて湯布院駐屯地



西部方面特科隊長  
湯布院駐屯地  
兼隊長  
准陸尉 板村 浩

最先任上級曹長を拝命し、四度目の新年を迎えることができました。この間、皆さま方から格別のご指導、ご鞭撻を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。  
昨年は、九州北部豪雨における災害派遣活動に従事し、また各種教育や訓練に取り組みなりました。本年は、特科隊及び駐屯地におきましても、部隊の新編等、改革の実行元年となり、今後数年にわたり継続いたします。これまで培ってまいりました経験に加え、新たな任務への取り組みを進進し、

平成三十年 元旦

協力活動等による海外任務はもとより、国内の大規模自然災害等、万が一の場合にも迅速かつ効果的に任務遂行できるよう、日夜訓練に励んでいただいている皆様に対して深甚なる敬意を表します。  
結びに、本年が平和で明るい年になりますことを願うとともに、湯布院駐屯地の益々のご発展と駐屯地司令官をはじめ、隊員とご家族の皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年 元旦

ている有難さをおかみして参ります。  
湯布院町から合併後(山布市)となり、この十二年間自衛隊の由布市における重要性がどちらかと言えは薄らぎつつあったと感じるは私だけでしょうか。  
今回市長選で相馬尊重新市長が誕生し、由布市防衛協会会長も兼任され、今まで以上に湯布院駐屯地と市政との緊密な関係を築いてくださることと確信しています。  
北朝鮮が久し振りにロケットを打ち上げ、四千八百キロの高度まで達しICBMの打ち上げに成功した。アメリカ合衆国の東海岸まで射程距離内に入りましたと報道されています。日本を取り巻く国際情勢は今後もさらに混沌と

平成三十年 元旦

部隊の中核である准曹上隊員が活き活きと職務を遂行することができるよう、きめ細やかな隊員指導に努め、「明るく、前向きに」指揮官の補佐としての任務に取り組み所存であります。  
最後になりますが、新しい年が皆さまにとりまして、実り多き飛躍の年でありませうと祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶

## 新年明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



竹田市 市長 首藤 勝次

湯布院駐屯地の皆様には、我が国の平和と安全を守る重要な任務をはじめ、災害派遣や国際貢献など昼夜を問わず精励されていることに対して、衷心より敬意を表します。

さて、近隣諸国における度重なる弾道ミサイルの発射や、透明性を欠いた軍事力の増強と積極的な海洋進出など緊迫感を増す国際情勢、そして近年頻発する異常気象による大規模

模災害など、非常時における自衛隊の役割や自衛隊に対する国民の期待は大きくなっております。

過去に幾度となく、大水害を経験した本市といたしまして、湯布院駐屯部隊との連携をより深め、市民が安心して生活できるまちづくりに取り組んでいく所存です。災害に強い、安心・安全なまちづくり実現のため、これまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに本年が平和で災害のない年でありますよう、あわせて湯布院駐

平成三十年 元旦



## 新年明けましておめでとうございます

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より当市の防災行政を始めとする市政各般にご理解、ご協



豊後大野市 市長 川野 文敏

力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、当市におきましては、昨年五月に朝地町綿田地区における地すべり災害、七月には九州北部豪雨、そして九月の台風十八号の集中豪雨と、度重なる災害により甚大な被害が発生しました。

そのような中、自衛隊の皆様には、災害や不発弾の対応等に従事していただきましたが、いずれの支援も自

衛隊でなければなし得ないものであり、その活動に對しまして衷心より感謝とお礼を申し上げます。また、皆様の担われる業務の大きさと重要性に改めて敬意を表しますとともに、その存在と活躍を頼もしく感じているところでもございます。

時に自然は、災害という形で私たちの想定をはるかに超える規模で脅威をもたらします。地域の防災を担う立場にある私たちは、日頃からの備えも含め、できる限りの対応をしておりますが、その限界を超える災害に直面したときには、自衛隊の皆

様に非常に厳しい状況での対応をお願いすることもあるかと存じますが、私どもの生命と財産を守るため、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴駐屯地の更なるご発展と隊員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げますとともに、今後とも当市の市政運営に変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成三十年 元旦

## 新年明けましておめでとうございます

湯布院駐屯地の皆様には、災害時の迅速な対応をはじめとして、平素より本市の防災行政に対し、御理解と御協力を賜り厚くお礼を申しあげ



佐伯市 市長 田中 利明

ます。

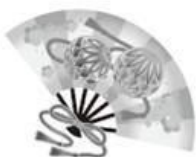
さて、昨年も九州では大きな災害が続きました。七月の九州北部豪雨では幸い本市に大きな影響はありませんでしたが、九月に発生した台風十八号は本市を直撃し、市内各地で甚大な被害を受けたところで、一時間に一〇ミリという記録的な短時間集中豪雨を二度経験し、かつてないほどの大雨の影響で市内中央を

走る番匠川も決壊寸前でした。市役所内も騒然とする中、湯布院駐屯地の隊員の皆様に駆けつけていただき、職員に大きな勇気を与えてくださいましたこと、あらためて感謝申し上げます。

本市では、今年度から市長直轄の防災局を立ち上げ、災害に強いまちづくりの力を入れて取り組み始めたところです。しかしながら、行政職員だけでは、その行動や判断力に限界があります。どうぞこれまで以上に御指導賜りますようお願い申し上げます。

ける次第です。むすびに、湯布院駐屯地の更なる御発展と隊員皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成三十年 元旦



### 第112 特科大隊



第一二二特科大隊長  
二等陸佐  
梶田 稜路

平成三十年 元旦

**新年明けましておめでとうございます**  
自衛隊協力諸団体の皆様、隊員諸官並びにご家族の皆様におかれましては、御かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
三月着任以来、災害派遣を含む各種事態等に的確に対応しつつ、ドーン・ブリッツを通じ水陸共同の海外訓練（鎮西二十九）等国内訓練を通じて日陸間用作戦における部隊の練度向上を図って参りました。  
本年は、水陸機動団特科大隊（仮称）が新編され即時対応が求められる初年度となります。このため、隊員一人一人ができるべきことを実行し、各種事態等に確実に対応できるように、引き続き大隊一丸となつて精進して参ります。  
最後に、本年の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

### 本 部 中 隊



本部中隊長  
一等陸尉  
黒木 光芳

平成三十年 元旦

**新年明けましておめでとうございます**  
隊員及びご家族の皆様におかれましては、御かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年三月に本部中隊長を拝命して以来、各種訓練・支援等による練度の向上及び九州北部豪雨に伴う災害派遣等の任務を完遂することができましたことは、皆様方の一方ならぬご支援・ご協力の賜と深く感謝申し上げます。  
本年も隊員一同、融和団結して、何時如何なる任務が与えられようとも、事態に即応して任務を完遂し得るよう精進努力していく所存でありますので、引き続きご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。  
最後に、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

### 第 302 観測中隊



第三〇二観測中隊長  
三等陸佐  
太田 吉之

平成三十年 元旦

**新年明けましておめでとうございます**  
隊員及びご家族の皆様におかれましては、御かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は、指揮観測機関の練度向上を目的とした職種共同訓練への参加を目標とし、目標設定訓練、情報処理訓練に特に力を入れて訓練を積み上げ、部隊・隊員の練度を向上させることができました。この間、皆様方から賜りましたご指導と協力に對しまして、心から厚く御礼申し上げます。  
本年も皆様の期待に応えるべく、即応態勢を維持しつつ、中隊一丸となつて隊務に邁進していく所存でありますので、引き続きご支援ご協力のほど、宜しく申し上げます。  
皆様方のご健勝とご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

### 第132 特科大隊



第一三二特科大隊長  
三等陸佐  
勝田 和彦

平成三十年 元旦

**新年明けましておめでとうございます**  
年頭にあたり一言ごあいさつを申し上げます。  
昨年は、大隊検閲を含む各種演習による練度の向上に引き続き、台風十八号に伴う九州豪雨で災害派遣、鎮西等における事態対処訓練任務を完遂することができました。この場をお借りして皆さんにお礼を申し上げます。  
平成三十年度は二六中期防の締めくくりに年になるとともに、次期に向けた準備等を促進する大事な年度になります。我が国を取り巻く安全保衛環境が刻々と変化する中、大隊は引き続き西部方面露唯一の長射程対地火力の特性を生かし、新たな戦い方の創造も含めて足腰の強い部隊の育成に邁進してまいります。  
この新しい年が次期に向けたより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 第103施設直接支援大隊 第1直接支援中隊湯布院派遣隊



第一〇三施設直接支援大隊  
第一直接支援中隊  
湯布院派遣隊長  
二等陸尉  
濱武 憲市

平成三十年 元旦

**新年明けましておめでとうございます**  
駐屯地の皆様明けましておめでとうございます。昨年は災害派遣、教育訓練、支援業務等多忙な一年でありました。昨年の多忙な任務を遂行できましたのも、駐屯地の皆様方の協力とご理解があつてこそであり、この場をお借りして御礼申し上げます。  
今年は、昨年同様支援業務を主として各種業務及び教育訓練を実施してまいります。  
その教育訓練においては、二月に中隊検閲を受閲するにあたり、日ごろの練成成果を発揮できる場として全力で挑みます。また、派遣隊は、中隊主力から離隔して少数ではありますが、主力に負けない少数精鋭の整備組の育成に取り組んでいきます。  
最後に昨年と変わらぬご協力とご理解を賜りますようお願いいたします。

### 第101 特科直接支援隊



第一〇一特科直接支援隊長  
二等陸佐  
加藤 清博

平成三十年 元旦

**新年明けましておめでとうございます**  
皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は皆様からのご厚情とご協力により隊の任務を完遂することができました。厚くお礼を申し上げます。  
本年も隊一丸となり任務の完遂に邁進していく所存でありますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
本年の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 湯布院駐屯地 業務隊



湯布院駐屯地業務隊長  
二等陸尉 酒見 哲紀

**謹んで初春のお慶びを申し上げます**  
皆様におかれましては、よき新年をお迎えとお慶び申し上げます。  
昨年三月に湯布院駐屯地業務隊長を拝命して以来、「徹底した支援」、「部隊との連携」を要領事項として、平成二十九年九州北部豪雨災害派遣対応、駐屯部隊等との共同訓練、災害対処訓練、即応態勢向上訓練等を行い部隊の練度を向上させました。さらに日出生台演習場周辺の各地区自治委員、演習場監視員の方々と連携を深め、周辺地域との共存共栄に努め演習場の安定使用に貢献しました。この間、皆様から頂きました格別のご配慮に対しまして厚く御礼申し上げます。  
本年も駐屯地が隊員にとり「憩いの場、部隊にとり「作戦の基盤」となり、地域住民の方々との共存共栄を重視して隊務を遂行していく所存ですので、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。  
新年が皆様にとり幸多き年となりますよう祈念申し上げます。  
平成三十年 元旦

### 第368施設中隊



第三六八施設中隊長  
一等陸尉 石川 健

**新年明けましておめでとうございませす**  
ご家族共々良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年、皆様からのご厚情とご協力のおかげをもちまして七月に発生した九州北部豪雨に伴う災害派遣や約一ヶ月間の連続した中隊訓練検閲、演習場定期整備及び群訓練検閲の参加等、任務に即応し完了した年となりました。  
本年も与えられた任務を完遂できる精強な中隊の育成に中隊一丸となり精進して参ります。  
平成三十年 元旦

### 第304基地通信中隊 湯布院派遣隊



第三〇四基地通信中隊  
湯布院派遣隊長  
三等陸尉 川村 翔大

**新年明けましておめでとうございませす**  
皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は皆様のご厚情とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
本年も派遣隊一同、駐屯地のシステム通信のサービソ向上に努め、また、ユーザー第一に各種ニーズに対応する所存でありますので皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成三十年 元旦

### 第404会計隊湯布院派遣隊



第四〇四会計隊  
湯布院派遣隊長  
一等陸尉 辻 健太郎

**新年明けましておめでとうございませす**  
皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は皆様のご厚情とご協力を賜り、与えられた任務を完遂できましたことを心より厚くお礼申し上げます。  
本年も多くの絆を大切に、派遣隊一丸となって、真心のこもった一歩踏み込んだ会計支援をする所存でありますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
本年が皆様にとって幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。  
平成三十年 元旦

### 自衛隊大分地方協力本部湯布院援護室



自衛隊大分地方協力本部  
湯布院援護室長  
准陸尉 井上 昌治

**新年明けましておめでとうございませす**  
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。  
本年も湯布院地区自衛隊退職者就職援護協議会をはじめ皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成三十年 元旦

### 第134地区警務隊湯布院連絡班



第一三四地区警務隊  
湯布院連絡班長  
一等陸尉 山ノ内 孝太郎

**新年明けましておめでとうございませす**  
旧年中はひとかたならぬご厚情を頂き誠にありがとうございました。  
本年も湯布院連絡班一同一丸となり駐屯地の規律維持のため全力を尽くしてまいりますので、引き続き皆様の変わらぬご愛顧、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げます新年のご挨拶とさせていただきます。  
平成三十年 元旦

# 駐屯地記念行事

十月十五日(日)湯布院駐屯地開設六十一周年及び西部方面特科部隊創隊十五周年記念行事を実施しました。

式典では、多数のご来賓のご臨席を賜り盛大に挙行されましたが、当日はあいにくの雨天でありましたが、観閲行進では、観閲部隊指揮官(石丸一佐)を先頭に気迫あふれる堂々の行進を披露し訪れた観衆を魅了しました。



式典の中で式辞を述べる湯布院駐屯地司令(壁村1佐)



各部隊の観閲行進

訓練展示戦闘訓練では、駐屯地グラウンドにおいて迫力ある二〇三ミリ自走榴弾砲の空砲射撃や重機関銃を使用した空砲射撃で敵陣地を制圧するまでの模様を展示し部隊の威容を示しました。



203ミリ自走榴弾砲による最後の観閲行進・空砲射撃



装備体験試乗



記念式典参列部隊

# 自衛隊統合演習(二十九JX)

西部方面特科部隊は、十一月八日から十一月十九日までの間自衛隊統合演習(二十九JX)に参加し、航空自衛隊横田基地・小松基地その他、静岡県沼津市・健康駐屯地・那覇駐屯地の広域に部隊を展開し演習に参加しました。

この実動訓練の中で、協同対艦攻撃、陸自単独対艦攻撃及び海上からの着上陸訓練の課目を演練し、部隊の練度向上を図ることができました。

本演習の目的である協同対艦攻撃では、航空自衛隊F-2戦闘機海上自衛隊P-1哨戒機及びミサイル艇と連携した地对艦ミサイル発射までの行動を航空自衛隊及び海上自衛隊のシステムと連携して訓練しました。

さらに陸自単独対艦攻撃では、火力戦闘指揮統制システム(FCCS)を使用し、三〇地对艦ミサイル連隊及び多連装ロケットシステムと連携した陸自単独対艦攻撃要領の練度向上を図るとともに、対艦レーダにより実艦艇を標定することで各地対艦ミサイル連隊の標定精度を確認することが出来ました。



協同対艦攻撃(二二式地对艦ミサイル発射機)

その他一・二特科大隊は、海上自衛隊・航空自衛隊と連携し、静岡県沼津海浜訓練場、鹿児島県種子島前之浜及び日出生合演習場において水陸両用作戦における練度の向上を図るため、海上自衛隊のエアクッション艇(LCA)、ポート及び航空自衛隊のヘリコプター(CH47)と連携し着上陸訓練を実施しました。これらの訓練により着上陸のための情報活動や上陸後の目標の確保までの行動を演練するとともに多面対処等、複雑な状況下における火力の配当等の総合火力運用についても多くの資を得ることが出来ました。



SMSMと連携し対艦攻撃を実施するMLRS



レーダによる目標情報の入手情報処理

# 隊通信競技会

西部方面特科部隊は、九月五日から九月八日までの間、平成二十九年年度通信競技会を実施しました。

目的は、「部隊として必要な戦技能力の向上を図るとともに通信特技保有者としての基礎的技術、班長等の指揮能力の向上であり、十分な成果を得ることができました。競技は、部隊対抗の部及び射撃中隊対抗の部で実施され、選手は部隊の名誉のため優勝を目指して、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮しました。

結果は次のとおり

■部隊対抗の部

- ◎第一位 本部中隊
- ◎第二位 第三〇二観測中隊
- ◎第三位 第一三三特科大隊

■射撃中隊対抗の部

- ◎第一位 第五地对艦ミサイル連隊
- ◎第二位 第四射撃中隊
- ◎第三位 第三三三特科大隊
- ◎第四位 第三中隊
- ◎第五位 第三射撃中隊



部隊対抗の部において有線構成をする競技者

# 年男・年女の抱負



二尉 磯野 裕一  
特科隊本部第四科

明けましておめでとうございます。早いもので四度目の年男を迎えました。二週り前(二十四歳から三十六歳)は、初級陸曹として一步を踏み出し、異動等を含め多くの同僚との絆を深め、一回り前(三十六歳から四十八歳)は、経験と教訓から多くのことを学び幹部に任用させていただきました。これからの十二年間、自衛官として、初めのごく終わりを全うし、プライベートでは、趣味で始めたゴルフでハーフスコア四十八を目標にして充実した人生を歩んでいきたいと思えます。



二曹 能登 秀一  
第一二特科大隊

今年、自衛隊に入隊して、三度目の年男を迎える。一度目の二十四歳の時は、初めて曹候補一次試験に合格し、二次試験を受けたが、さぞうな結果だった事を思い出す。二度目の三十六歳の時は、レンジャー課程入校時の第四想定中に誕生日を迎えた。三度目の今年、上曹課程入校と、何ととっても、水陸機動団の立上げという陸上自衛隊最大のビッグイベントが待っている。長い自衛隊生活で改編は二度経験しているが、自衛隊生活晩年に、このようなビッグイベントを迎える事に、期待と不安が入り混ざった何とも言えない感覚がある。今年一年、任務完遂、健康第一で、このビッグイベントを楽しみたいと思う。



三曹 岩政 希穂  
第一二特科大隊

明けましておめでとうございませう。今年晴れて年女を迎える事が出来ました。入隊当初は、十八歳、今よりも落着きがなく「キヤビキヤビ」していた事を思い出して



第三二特科大隊 士長 櫻井 維洋

自衛隊に入隊して早六年が経ちました。ここまで頑張ってきたのは色々な人に支えられたからだと思います。支えてくれた人に感謝するとともに、恩を返すためにも陸曹にならなければならないと考えています。年男としての抱負は自衛官であるための知識、技術、体力の向上を掲げ、今まで以上に努力して立派な自衛官になれるように頑張りたいと思います。



第三曹 高橋 薫  
第一三二特科大隊

今年で入隊して二回目の年男を迎える事ができました。ここまでこれたのは、同期や先輩、後輩、家族に感謝し、今年一年新しい事に挑戦する、一年として参ります。仕事においては、新設部隊へと移動となり不安と希望が織りなす中ではありますが、常に向上心、探究心をもって失敗を恐れずに挑戦していきます。プライベートにおいては、子育てを委任せしめず、積極的に子どもと関わり、父親として笑顔の絶えない家族を築いてまいります。

今年一年は、今までにお世話になった人への感謝の気持ちを忘れずに精進していきたくです。最後に「自分らしく」をモットーに笑いのある楽しい毎日していきます。



本部中隊 三曹 後藤 潔彦

新年明けましておめでとうございませう。私は、今年で三度目の年男を迎えることになりましたが、二度目の時は、色々抱負をもって臨んできましたが、なかなか思うように達成できませんでした。しかし三度目ということで一段と積極的な気持ちで臨もうと思っています。早いもので自衛隊入隊以来十四年、配属係として八年ということですが自分自身も「積極的に」勤務日々努力しなければならぬと思ひ最初の頃は一つの調整をすることにしても、心配や不安がありました。上司や先輩方の指導により自分の職務に対する誇りを持つようになりました。



第三〇二観測中隊 二曹 和田 英樹

今年、三回目の年男を迎えることとなり、月日が経つ早さを感じているところです。さて、年男として今年の抱負ですが、特技については、昨年は指揮班訓練陸曹としての勤務を終えリタ小隊へ戻ったのですが、新しい器材の取扱い等、教えてもらってばかりだったので、今年については自分がかかりと教育することが出来るよう知識・技能共に深めていきたいと思ひます。係業務については、中隊で指定走係として長を補助し、隊員に指導出来るよう日頃からの走り込み、体力養成に励んでいきたいと思ひます。



第三〇二観測中隊 士長 津村 拳人

私は今年、年男であると同時に前厄となる歳でありますので、一層気を引き締めていきたいと思ひます。今年の抱負は、二点あります。一つ目は、陸曹候補生の指定を受けることです。理由は、陸曹にしか出来ない事に挑戦してスキルアップして中隊に貢献したいからです。二つ目は、感謝をすることです。未熟な私ですが、上司及び同期等の支えがあり、今の私があると思ひます。両親や上司、同期への感謝の気持ちを忘れることなく、更に大きく成長していきたいと思ひます。



第一〇一特科 直接支援隊 三曹 立石 貴久

私にとって今年には二十四歳になる年で二回目の年男を迎えます。この機会に、改めて勉強し直したいことがあります。それは英語です、各国との協同訓練や国際貢献、他国との関わりが増している自衛隊に勤務する上で、高い英語能力を身に付けていき恒常業務以外はもちろんのことと語学分野でも役に立てるようにになりたいと思ひます。



第一〇一特科 直接支援隊 一士 藤原 未麻

二〇一八年で二十四歳になります。年女を迎える時に自衛官という仕事に就けている事にとても喜びを感じます。昨年は、部隊配属されてた皆さんの上司



第三六八施設中隊 三曹 大神 栄作

早いもので、三度目の年男を迎えました。一週り前の十二歳間は陸曹としての素質を高め、また、結婚・子供の誕生と自分にとって感謝の時代でした。それだけに、自分ことだけに精一杯であったように思ひます。これからの十二歳間は、新転地への異動や子供の進学等々行事がたくさんあるかと思ひますが、家族・職場・地域でより貢献できるよう、自分を高めたいと思ひます。



第三六八施設中隊 士長 飯尾 香織

二〇一八年の私の抱負は大きく二つあります。一つは自身の進路をはっきりと決定することです。二〇一八年度は二任目を迎えます。自分の中で今ふたふた浮いている考えを明確なものにしなければならぬので、将来のことをしっかりと見据え、よく考えていきたいと思ひます。二つ目はたくさん勉強してたくさん遊ぶことです。今しかできないこと、やりつくしたことを悔いがないように、今やつくしたいです。特技である測量はもちろん、英語とポルトガル語を習得したいと思ひます。そして、趣味に遊びに没頭したいと思ひます。

二〇一八年も持ち前の元気で何事にも全力でぶつかっていきます。

# 年男・年女の抱負



湯布院駐屯地業務隊  
防衛事務官  
杉本 卓

自衛隊で勤務して、十六年目を無事に迎える事ができたのも、これまで良き上司、同僚・部下に支えられたおかげだと改めて深く感謝をし、今年はこの目標を掲げたいと思います。

一つめは、「部隊のため隊員のため」、駐屯地に所属している皆様が安心して日頃の訓練・業務ができるよう、賠償・補償の担当者として迅速かつ的確な業務に尽力したいと思います。

二つめは、「家族のため」で、昨年度から地元である西方に初めて勤務しているため、これまで十分でなかった親孝行に励みたいと思います。何はともあれ「健康第一」で何事にも前向きに取り組んでいきたいと思っています。



湯布院駐屯地業務隊  
防衛技官  
上野 簡男

今年、無事に三回目の年男を迎えられました。ここまで支えてくれた家族や友人、職場の方々に感謝します。抱負ですが、十六年間他方面隊で勤務していたので家族や友人との時間を充実させたいです。次に健康管理、念願のメタボ脱出をしたいと思えます。そして、残り約五十年の人生を面白くおもしろく笑って過ごせるように精進していきます。



# 新成人の抱負



第二二特科大隊  
士長 氏田 竜貴

新成人を迎えるに当たって今までと違い、更に自覚のある行動が求められます。自然の中で中心と成っていかねければなりません。私は自衛官として、後輩隊員の模範となる様に、今後何事にも挑戦する気持ちを持つて日々努力していこうと思います。

新成人としての大きな節目を迎え、今まで以上に社会に貢献し、一つ一つを乗り越えて良い自衛官、良い社会人になろうと思います。



第二二特科大隊  
士長 廣實 直樹

私は、成人を迎えるにあたり二つの抱負があります。まず一つ目は、中隊の伝統を継承することです。私の中隊は、後輩隊員に対し訓練や宮内生活面全てにおいて、熱心に教育を実施しています。私も先輩方のように今後より一層気を引き締めて教えて行きたいです。

二つ目は、成人したことにより一人の大人として、一社会人として見られます。その為自衛隊だけでなく一般の方からも、しっかりと社会人として見られるよう当たり前のことを当たり前に実施し、中隊から頼りにされる隊員になって行きたいと思えます。



第二二特科大隊  
一士 時枝 勇一

私が成人を迎えて感じた事は、自分の言動に責任を持つ人間になりたいと思う気持ちです。私の知っている言葉に、「未成年状態とは、他人の指示を仰がなければ、自分の判断力を使う事が出来ないことである」と言う言葉があります。これは、人から導いてもらう事ばかり考えている人間は、いつまでも「大人」にはなれないと言う事だと感じました。

これからの人生でたくさん問題にぶつかると思っています。その問題から逃げることなく、自分自身で解決出来るようになることが成人への第一歩だと思います。その為、私は新成人になるという強い自覚を持って日々努力していきます。



第二二特科大隊  
士長 後藤 峻華

成人を迎えるにあたって、目標があります。それは精神力を強くすることです。私は今まで何事に対しても、きついことや辛いことがある時に、すぐに諦めてしまうことがあります。これからは成人として、何事にも自ら挑戦をし、精神力を向上するとともに、成人として、また自衛官として、頑張っていきたいと思えます。また、二十歳になったからといって、調子に乗ることがない様、自覚のある行動をとっていききたいと思えます。



第二三特科大隊  
士長 有村 千佳

今回、新成人になるにあたって、今までは自衛隊に入隊して親から自立したいと思っていましたが、自分の中でまだまだ十代から大丈夫と甘えていました。自分から積極的に、自ら考えて行動して「自立した社会人になりたいです。」

まずは、毎日の訓練や各種競技会、検閲等で誰かに聞く前に自分で考えて積極的に行動するように心がけていきたいです。そして、今までお世話になっていた人たちに感謝の気持ちを持ち少しずつ返返ししていきたいながら素直な大人の女性になれるように日々努力していきたいと思えます。



第二三特科大隊  
士長 荒瀬 一刀

私が成人を迎えるにあたって抱負として掲げることは二つあります。一つは、人として、大人として、社会人としての自覚を持ち、広い視野で物事や人に接することです。そのために自治等、この世の中で起きていること、行われていることしっかりと向き合い考えたいです。

二つめは自衛官として今より一層訓練、服務に精進し世間に恥じない自衛官になります。二つのことを踏まえて大人として自衛官として胸を張れる人間になります。



第二三特科大隊  
士長 野中 翔

今年度で新成人として大人の仲間入りをしました。未成年では禁止されていた飲酒や喫煙が出来るようになり大人の仲間入りをしたんだと実感します。その反面、成人を迎えたとする事で、社会に認められ、大人としての責任が求められます。立派な社会人として正しい判断が出来るような大人になりたいと思っています。より一層、自衛官としての自覚を忘れず日々頑張っていきたいと思います。



第二三特科大隊  
士長 坂本 耕規

私は、今年成人を迎えることが出来ました。この二十年を振り返ると沢山の人の手に支えられていたと思えます。特に一番は家族です。社会人になりお金を稼ぐ大変さを知り、父の格好良さや母の優しさなどがよくわかりました。本当に感謝しています。



本部中隊  
士長 佐藤 もも

新成人としての抱負は二つあります。一つめは「研究心を持つこと」です。後輩ができたことにより、自分の思っていた部分や浮き彫りになり、このままではいけないと強く思うようになりました。研究心を持ち積極的に学ぶことができれば自分に自信を持つようになると思うからです。二つめは、「最後までやりきる」ことです。私は、何かを決めた目標を最後までやりきることで自分がステップアップできると思っています。

一つの節目を迎え、今、感謝の気持ちを忘れず自分自身が成長できるよう日々邁進していきます。

# 新成人の抱負



私の成人の抱負は二つあります。一つ目は、自衛官として中隊の方々から認められるような一人前の自衛官になることです。そのためには、無線通信手としての知識と技能を得るために、日々の練度向上に努める事です。

二つ目は、二十歳の節目を迎えてこまめで育ててくれた両親への感謝の思いを伝え、今後も親孝行を大事にしていきたいです。



本部中隊  
士長 井上 勝也



第三〇二観測中隊  
士長 山内 悠揮

私の新成人の抱負は二つあります。一つ目は、感謝の気持ちを忘れないということ。この二十年間たくさんの人に支えられて生きてきました。両親、友人、学校の先生や、自衛隊入隊後は、新教の班長、班付、同期等、多くの方々の支えがあったからこそ今の自分があります。

二つ目は、責任感を持つということ。今までは未成年ということもあり、失敗なども多少は許され、親が助けてくれたこともありました。しかし、これからは一つ一つの行動が自己責任となります。社会人・自衛官としての自覚を持ち、物事の善悪をしっかりと判断し、責任感を強く持つて行動していきたいと思えます。



第三〇二観測中隊  
士長 東島 美祐

立場になりました。今までは未成年だからと甘えた考えや行動ばかりで大人になる節目に、二つの目標を持ちたいと思えます。

一つ目は、自分の意思をしっかりと持つことです。振り返ってみると、私は人の言う



私は、今年で大人としての節目となる成人式を迎えました。今回、成人を迎えるにあたり、二つの目標を立てました。

一つめは、何事も積極的に自ら進んで行動する事です。二つめは、自分の行動に責任を持つ事です。この二つの目標を掲げ、今後も頑張っていきたいと思います。



第一〇一特科 直接支援隊  
士長 西山 美依

私は平成三十年に人生の大きな節目である成人者となります。これを機に自分は大きく変化していきたい事があります。周りから、大人として扱われるようになると思っているので成人者としての自覚を持ち常に責任のある言動を心がけていきたいと思っています。

今後は、多くの事に積極的にチャレンジしていきたい。様々な知識や技術を身につけて周りの人達から尊敬される大人になれるように頑張っていきたいと思えます。



第一〇一特科 直接支援隊  
士長 福島 章人

ことに流されやすく積極性に欠けていました。自分の意思を持ち、自信を持って積極的に責任感のある行動がとれるようになりたいと思えます。

二つ目は、感謝の気持ちを忘れないことです。私を育て、支えになってくれた家族や友人、同期、そして職場の方々、今の私がいるのは皆様の支えがあるからです。二十歳になったからといって急に変わることはできませんが日々成長して頑張ります。



第三六八施設中隊  
士長 服部 幸太

私は、今まで両親に心配や迷惑を掛けてきました。高校卒業し早く自立できるように陸上自衛隊に入隊しました。入隊後も色々な心配をさせています。これからは一人の新人成人として仕事に励み両親を安心させる事が一番の親孝行だと思います。今まで心配や迷惑を掛けてきた分いくら親孝行しても足りないくらいだと思います。

今後は苦しいことやきつい事などを乗り越え成長した姿を両親に見せたいと思えます。



第三六八施設中隊  
士長 古川 千聖

私は、今年度で二十歳になりました。二十歳になるにあたって努力したいことがあります。それは、頼られる人間になるということです。なぜかという、自分も部隊二年目となり少しずつ仕事を去年よりも任せられ、新配置隊員も入り、自分にも後輩ができたからです。入ってきたばかりの後輩は、去年の自分達と同じ様に右も左も分からない状態です。今年から、自分が頼れる先輩になっていける様に更に努力していきたいと思えます。



第一〇三施設直接支援大隊 第一直接支援中隊 湯布院派遣隊  
士長 藤井 友博

私が新成人になるにあたって、まず自分をこまめで育ててくれた父と母に「ありがとう。」と伝えたいと思えます。両親だけでなく、自分はこの二十年間、多くの人に支えられ、自分ではこの二十年間、多くの家族をはじめ、友達や学校の先生・自衛隊の先輩方と同期、他にも多くの方に支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



第三〇四基地通信中隊 湯布院派遣隊  
一士 大久保莉乃

成人になり、これからは今まで支えて下さった方へ少しでも恩返しのできるよう、しっかりと責任を持った行動を取り、立派な大人になりたいと思えます。







家族間コミュニケーション



観桜会



成人行事



訓練始め



特科隊検閲



132大隊訓練検閲



武装走競技



春風コンサート

春風コンサート



特科隊検閲



特科隊検閲



入隊式



湯布院温泉まつり



田布岳山開き



体験入隊

# プレイバック2017



九州北部豪雨災害派遣



九州北部豪雨災害派遣



九州北部豪雨災害派遣



納涼祭



112大隊実射訓練検閲



測量競技会



通信競技会



112大隊実射訓練検閲



鎮西FTX



鎮西FTX



駐屯地記念行事



鎮西FTX



鎮西FTX



駐屯地記念行事



駐屯地記念行事